

JRAT 活動報告書

平成 31 年 2 月 18 日

都道府県	宮城県	報告者	上遠野 純子	
団体名称／ 参加団体	宮城県大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT MIYAGI) 参加団体：(宮城県リハ医会、(社)宮城県理学療法士会、(社)宮城県作業療法士会、 宮城言語聴覚士会、宮城県ケアマネージャー協会			
実施内容	☐ 組織化・連携の 動き	☒ 研修会実施	☐ 訓練等実施	☐ その他
実施日	平成31年 2 月 17 日	実施場所	宮城県リハビリテーション支援センター	
概要	平成 30 年度 JRAT MIYAGI 研修会を開催した。 1 実施日時 平成 31 年 2 月 17 日 (日) 9 : 00 ～ 14 : 00 2 実施場所 宮城県リハビリテーション支援センター 3 参加者 24 名 (医師 3 名、OT 9 名、PT 9 名、ST 3 名) 4 実施概要 当協議会は近々の課題として、宮城県内のリハビリテーション関連職種で構成する、JRAT MIYAGI 派遣チームの人材確保とその育成がある。そこで、今回は、公益社団法人熊本県理学療法士協会が開発した、大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営を疑似体験する実践的なシュミレーションゲーム「REHUG」を実施し、災害リハビリテーションにおける受援という体験を通して、それぞれの役割の理解を深め、協力しながら本部運営に取り組めるよう実践的な演習を行った。 当日はまず熊本地震における本部運営の実際を、公益社団法人熊本県理学療法士会協会理事佐藤亮氏より説明を頂き、引き続きそれぞれ参加者が役割を担い、REHUG研修を実施した。			
所感	それぞれ協力しあって本部運営を想定し、約 3 時間に及ぶ演習であったが、積極的な演習が行われた。終了時に参加者にアンケートを実施し、今後の繰り返しの研修を希望する意見が多かったことから、次年度以降の事業計画にも取り入れることを今後の代表者会議でも検討して行きたい。			
今後の課題	発災時、組織的かつ直接的な災害リハビリテーション支援を行うためにも、今後も JRAT MIYAGI 派遣登録メンバーの人材育成と活動の普及啓発に取り組んでいく。ただし活動の継続的な運営のために、助成金への申請を行うなど資金の確保が課題である。			
今後の活動予定	代表者会議の開催 (年 4 回開催予定) 北海道・東北・新潟ブロック会議への参加 研修会の開催			

<実技写真>



